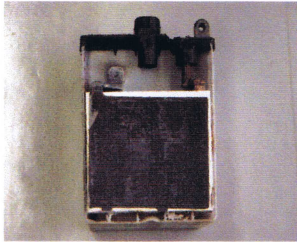


ラスロンGを正しくご利用いただくために

◆ラスロンGは、鉛バッテリーの再生剤です。

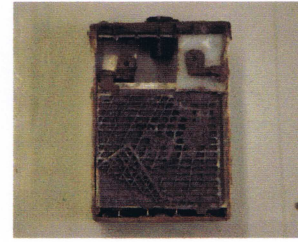
＜バッテリーの断面写真＞



＜正常な極板＞

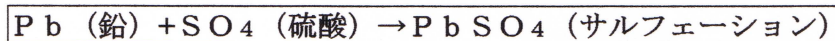


＜サルフェーションが付着した状態＞



＜破損した極板＞

鉛バッテリーは、極板の鉛と硫酸水（バッテリー液）が反応して電気を発生させています。この時の化学反応により、鉛と硫酸が結合し、サルフェーションという白い粉ができます。



このサルフェーションが極板を覆うことで、バッテリーの性能が落ちてきます。およそ4年～5年程度でバッテリーが使えなくなるのはこれが原因です。

ラスロンGはサルフェーションを元の鉛と硫酸に戻す効果があります。

ただし、右端写真のように破損したバッテリーには効果はありません。また注入口のないメンテナンスフリーのバッテリーには通常使用できません。

◆ラスロンGは、以下の量を2年に1回程度添加してください。

$$\text{バッテリー容量 (Ah)} \times 0.05 \text{ (バッテリー容量の5\%)} = \text{1室あたり添加量 (cc)}$$

例えば、135Ah×2基（24V）のトラック・重機に添加する場合、トラック用（ブルー）のラスロンを1室あたり7ccを目途に添加します。24Vですと6室×2基＝12室ありますから、10tトラック1台あたり84cc（7cc×12室）となります。

大型バッテリーでは280Ah、48Vの場合、ラスロン大型用（ピンク）を使用し、 $280 \times 0.05 = 14\text{cc}$ （1セルの添加量）となります。48Vは24個のセルがありますので $14 \times 24 = 336\text{CC}$ の量を使用します。

◆ラスロンGの効果は、電圧や比重で測定することができます。

ラスロンGはバッテリー充電時にサルフェーションを分解します。そのため、電動フォークリフト等で2週間程度、乗用車やトラックで約1ヶ月程度、バッテリーを使用すれば効果が表れます。効果が表れると、電圧や比重に変化が表れます。バッテリーの電圧は、1室あたりおよそ2.1V程度が正常です。しかしバッテリーが劣化すると、これが低くなり、電動フォークリフトなどではパワーや使用時間が落ちます。また、バッテリー液の比重は、希硫酸が入っているため、最良な状態でおおよそ1.28～1.30程度あります。しかし、硫酸がサルフェーションに変化すると、その分比重が下がります。これらの数値を目安に効果は測定可能です。

【電圧】…1室あたりおよそ2.1Vが正常の目安

【比重】…乗用車・トラック 1.28、電動フォーク等 1.30が正常の目安